

7/24 大雨により、再び、候補地が冠水

今号では、7月24日(水)宇都宮地方気象台より本町に大雨警報、洪水警報、記録的短時間大雨情報及び土砂災害警戒情報が発表されました。

当日、指定廃棄物最終処分場の詳細調査候補地(寺島入国有林)が、平成27年9月の関東・東北豪雨に引き続き、再び、冠水しました。つきましては、当時の気象状況、候補地の冠水状況、考察及び過去の雨量データ等について、お知らせいたします。

当日の気象状況は (宇都宮地方気象台発表)

【令和元年7月24日(水)】

19時12分

塩谷町に大雨警報(土砂災害・浸水害)、洪水警報を発表

19時15分

塩谷町付近に記録的短時間大雨情報を発表(発表基準は、1時間雨量が110mmを超える場合)

19時35分

塩谷町に土砂災害警戒情報を発表

22時10分

塩谷町の土砂災害警戒情報を解除

23時27分

塩谷町の大雨警報(土砂災害・浸水害)、洪水警報を解除

※、候補地付近に設置されている

(県)上の原観測局の雨量計では、18時から19時までの1時間雨量113mmを観測しました。

候補地の冠水状況は

翌日25日(木)午前10時町営豊月平放牧場より西荒川林道を通り詳細調査候補地に向かう。林道から西荒川の対岸にある候補地を見ると、冠水していることが確認されたため、ビデオと写真を撮影。

午後2時 候補地の冠水状況を直接確認をするため、再度、候補地内に入りました。状況は、砂や泥が堆積し、草が水の勢いで流されてなぎ倒されていた。また、杉の立木に枯れ木等が引っかかっており、冠水した状況は、明らかでした。



対岸方向から見た候補地



西荒川の川面と候補地



枝や流木が絡まった候補地の立木



冠水により溜まった泥や砂

これまででも、100mm超の大雨のたびに、この場所は冠水していたと推測できます！

冠水した状況を考察すると

雨が一番強かった時間帯は、午後6時から午後7時頃。その直後、候補地と西荒川の段差がないことから、一気に増水し、河川から溢れだした水により候補地内が冠水したものと推測されます。候補地付近は、山からの距離が短く急傾斜地であるため、短時間で水位が上昇します。

これまでの調査と今回の結果から、候補地は、河川との段差がないことから、約100mm以上の大雨が降ると、冠水すると考えられます。

(県)上の原雨量観測局(上寺島)の昭和50年から現在までの日総雨量計100mm以上の回数は、55回もありました。(裏面参照)

その中に、記憶に新しい1998年(平成10年)8月末豪雨(那須豪雨)、2015年(平成27年)9月の関東・東北豪雨があります。環境省は、関東・東北豪雨により候補地が冠水したことについては、認めております。那須水害の際も、冠水したことは明確であります。

1998年(平成10年)8月末豪雨(那須豪雨)

東北地方に停滞していた前線に向かって、太平洋高気圧の周りを暖かく湿った空気が流れ込み、地形の影響も加わり、栃木県から福島県にかけて記録的な大雨となった。本町では、町役場敷地内にある塩谷観測所で、26日から31日までの5日間の総雨量567mmを観測した。(県)上の原雨量観測局(上寺島)の雨量計では、802mmを観測している。

2015年(平成27年)9月 関東・東北豪雨

台風18号や前線の影響で、西日本から北日本にかけての広い範囲で大雨となり、線状降水帯が次々に発生し、記録的な大雨となった。本町の(県)上の原雨量観測局(上寺島)の雨量計では、9日から10日までの2日間で556mmを観測した。

(茨城県)の常総市で鬼怒川が決壊し、甚大な被害が発生

(裏面)

候補地選定要件は満たしていないことが、より一層明確に！

(県)上の原観測局の100mm超雨量データ

指定廃棄物処分場対策班だより

裏面

第31号
令和元年8月27日発行

候補地選定要件は満たしていないことが、より一層明確に！

平成27年9月の関東・東北豪雨による詳細調査候補地について、環境省が実施した被害状況調査の結果、環境省により候補地が冠水したことが確認された。このことを受けて、同年11月20日 町民報告会を開催し、詳細調査候補地の被害状況を報告。豪雨により冠水した詳細調査候補地は、選定要件を満たしていないことから、町民の総意として、環境省に『候補地選定結果の返上』を満場一致で決め、12月7日 当時の井上環境副大臣に『候補地選定結果の返上』の文書を渡して伝達している。

今回の大雨は、これまで町が主張してきた『100mmを超える雨が降れば冠水する』ことを証明するものであり、候補地選定要件を満たしていないことが、より一層明確となりました。

平成27年12月 7日

環境大臣 丸川 珠 代 様

栃木県塩谷町長 見 形 和

栃木県における指定廃棄物の処分場の候補地選定手法に基づく詳細調査候補地の選定結果の返上について

先般の関東・東北地方を襲った豪雨により、貴省が本町の寺島入国有地(国有林)に選定した指定廃棄物詳細調査候補地付近は甚大な被害を受けました。そのことは10月14日に貴省により実施していただきました豪雨の影響調査でも確認していただき、冠水したという事実が、先日貴省から公表されました影響調査結果の報告書にも明記されております。

本町では、今回の豪雨による被害状況を多くの町民の方々に理解していただくため、町独自の現地調査、町議会による現地調査を実施し、その結果を区長会及び町民全体を対象とした説明会等で報告し、詳細調査候補地に起きた豪雨の被害状況を塩谷町の共通認識として確認をいたしました。

今回の豪雨災害により、貴省でも認めたように詳細調査候補地は現実的に冠水し、貴省が除外するべきとしている要件の、河川の溢水による冠水が詳細調査候補地で起っております。このことは寺島入国有地(国有林)が詳細調査候補地として選定されるべき場所ではないことを証明しており、その考えは塩谷町民の総意であります。

つきましては、寺島入国有地(国有林)は降雨により冠水し、選定の基本的要件を満たしていない土地であるため、栃木県における指定廃棄物の処分場の候補地選定手法に基づく詳細調査候補地の選定結果を貴省に返上いたします。

→ 当時の井上環境副大臣へ渡した文書

(県)上の原観測局の100mm超 日総雨量データ
(※昭和50年から現在まで 単位はmm)

出典元: 栃木県 県土整備部 河川課
雨量年表 および 雨量月報



S52.8.16	S55.9.7	S57.9.12	S57.10.18	S61.9.2	S63.8.11	S63.8.29	H2.8.9	H2.8.10	H2.9.30	H2.11.30
140.5	102	160	111	128	112	116.5	125	161	100	120
H3.8.20	H3.8.30	H3.9.18	H3.10.10	H5.11.13	H6.5.26	H9.6.20	H10.7.23	H10.7.29	H10.8.27	H10.8.28
264	138	101	136	158	185	147	112	120	362	110
H10.8.29	H10.8.30	H10.9.16	H11.7.12	H11.7.13	H13.8.22	H13.9.11	H13.9.11	H14.7.22	H14.8.14	H15.8.9
108	222	270	134	156	194	186	161	103	100	146
H16.10.20	H17.7.26	H18.10.6	H19.9.7	H20.5.20	H20.8.5	H20.8.28	H21.6.14	H21.8.10	H22.8.17	H23.9.2
139	160	104	166	118	126	120	132	177	105	111
H23.9.21	H24.5.3	H24.6.19	H25.7.27	H25.9.16	H27.7.16	H27.9.9	H27.9.10	H28.8.22	H29.7.25	R1.7.24
211	191	177	115	108	134	385	171	102	115	143

平成10年
那須豪雨
(桃色枠内)

令和元年
今回

平成27年
関東・東北豪雨
(緑色枠内)